

## 在宅血液透析（HHD）普及のために

### ～スタッフへの啓発と教育の重要性

長崎腎病院

○ 田賀農恵 植木秀一 中山美季 羽田鮎子 佐藤泰崇 林田征俊  
下田美智子 久保純子 白井美千代 丸山祐子 原田孝司 船越哲

#### 【背景】

2006年よりHHDに取り組んでいるが、2014年まで患者は1名のみであった。2015年に病院全体の目標とした結果、2016年に患者は9名に増加した。しかし、患者教育に関しては6-7名から成るHHD担当グループのみで施行していたため、担当グループの負担が増大していった。

#### 【目的】

院内スタッフ全体の意識を調査し、HHDに関するスタッフへの啓発や教育に活かす

#### 【対象・方法】

当院の看護師・臨床工学技士74名にHHDについてのアンケート調査を行い、分析して検討する

#### 【結果】

HHDに関心がある・少しある者は総スタッフの約9割で、院内勉強会の参加率も多かったものの、多くは当院の適応基準やHHD導入の流れ、指導内容を知らなかった。HHD指導に関わりたい、少し関わりたいスタッフは約6割と半数以上を占めていた。

#### 【考察】

今後は患者数増加に伴い、より多くのスタッフが統一した指導やトラブル対応などを行える必要がある。院内の関心は高いことより、適切な教育システムを構築することにより、将来的にHHDの普及につながると考える。